

第69回日経広告賞「環境部門/優秀賞」を受賞

本日、日本経済新聞社が主催する「第69回日経広告賞」が発表され、当連合会の2020年3月19日付日本経済新聞朝刊に掲載した広告、「日本から、海上輸送が消えたとしたら……」が環境部門・優秀賞を受賞しました。

今後も、環境に優しい内航海運の認知度を向上させるため、多様な広報活動を行ってまいります。

※日経広告賞は1952年にスタートし、今年で69回目を迎える日本の代表的な広告賞です。
今回は2019年10月1日から2020年9月30日までに掲載された広告が対象です。

■受賞広告

**日本から、海上輸送が
消えたとしたら……**

内航海運で運ばれる
約3億6,000万トン(※100%)の
輸送品を……

↓

10トントラックで陸送すると
トラック3,600万台が
全国の道路へ!

環境への影響は?
「内航海運のCO2排出量は陸送用トラックの約1/6に留まっています。」

そんな未来にならないように、内航海運からのお願いです。

2020年1月、海運業界には環境保全に向けて、より厳しい大気汚染防止対策が課せられ、低硫黄油が0.5%以下の濃度しか使用できなくなりました。低硫黄油は、既存の燃料油に比べ高価であり、高くなったコストを船会社の経営努力のみで吸収するのは難しいのが実情です。もしも、このような状況が長く続けば、船費が立ちいかなくなり、国内の海運の光が薄れる日が来ることを恐れます。私たち海運業界は、これからも地球・海洋環境に尽力してまいります。そのためには皆様のご理解、ご協力が必要です。何卒よろしくお願いたします。

船舶による大気汚染の防止を促す
マツダと共同開発した低硫黄油燃料

| 項目 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|
| 船舶による大気汚染防止のための低硫黄油燃料の使用率 | 14% | 15% | 25% |
| 船舶による大気汚染防止のための低硫黄油燃料の使用率(目標) | 14% | 15% | 25% |

日本内航海運組合総連合会 www.naiko-kalun.or.jp